

[013]教育経営学研究紀要目次等

<https://hdl.handle.net/2324/18563>

出版情報：教育経営学研究紀要. 13, 2010-09. 九州大学大学院人間環境学府(教育学部門)教育経営学研究室/教育法制論研究室

バージョン：

権利関係：

あとがき

9月まで続いた記録的な暑さも峠を越し、ようやく例年のような秋の気配が感じられる時節に入りました。このたび研究室紀要13号が完成しましたので皆様にお届け致します。本号は、編集委員（金子・山下）の尽力と執筆者の協力により、ほぼ予定通りのスケジュールで発刊することができました。ここ数年は、雪や桜が舞い散る時期にまで刊行がずれ込んでしまっていました。今年はその原因の一つでもあった大型プロジェクトの獲得を控えたことも功を奏した一因かも知れません。また、各自が個人研究に専心することを本年度のスローガンとして研究室運営をすすめて参った成果でもあるでしょう。

とは申しまして、福岡県小学校長会調査研究補助、オープンキャンパス研究室企画、九州教育経営学会事務局、九州教育学会事務局、福岡県教育センター連携事業、学校管理職マネジメント短期研修プログラムといった、いわばルーティン化した感さえる様々なタスクは研究室内の院生たちが負担しあって個人研究と並行して何とかこなしている状況です。本研究室には「校務分掌」なるものが存在することも「経営」を標榜する研究室にふさわしいところかもしれません。マネジメント・マインドを我々自身が有していないととても学校現場の先生方にマネジメントを語る資格がないことを肝に銘じ、研究室の感情を維持・管理しながらワーク・シェアリングをすすめているところです。

なお私事ですが、9月末日を節目にこれから一年間のサバティカル（研究専念）期間に入ります。研究室の運営や院生・学生指導のあり方についてはあれこれと案じながらも、折角いただいた機会ですので、我が儘に研究中心の生活に没頭させていただこうと思っております。院生・助手の時代を経て、福岡教育大での7年間、そして古巣・九州大学での7年半をずっと走り続けたので、少し走り方をかえてみようと考えています。しばらくは海外との往復となり、研究室を留守にしがちですので、院生の指導その他で皆様にご心配とご迷惑をおかけしますが、何卒よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

最後になりましたが、本研究室紀要の論考をご高覧いただき、ぜひ忌憚のないご意見を賜りますれば誠に幸甚に存じます。爽やかな秋をお迎えください。

2010年9月21日

元兼 正浩